

6・12レンジャー市街地訓練抗議行動

有事立法・治安弾圧を許すな！北部集会実行委員会

六月三日、練馬駐屯地抗議デモの前段集会準備中に「六月一二日、陸上自衛隊レンジャー部隊の訓練が市街地で行われる。板橋の荒川河川敷から練馬北町の第一師団まで小銃等で武装し、徒歩訓練を行うようだ」との報を参加者より受ける。二三区では四二年ぶりのことだ。殺人精鋭部隊養成の市街地行進訓練を見過ごすわけにはいかない。

この動きは四月一八日に練馬駐屯地より板橋区危機管理室防災危機課を通じて「レンジャー訓練実施について（四月八日付）」が板橋区議会議員に配布されたことから始まった。

自衛隊による「レンジャー訓練実施計画（概要）」は「1 目的／レンジャー訓練における行進訓練を実施し、隊員の訓練練度向上を図る。2 時期／平成二四年六月一二日（火）08:30～12:00。3 場所／荒川戸田緑地・練馬駐屯地。4 実施要項（1）ヘリコプターにより荒川戸田緑地の降着、行進訓練を実施する。（2）二列の隊列を編成し、練馬駐屯地まで徒歩行進訓練を実施する。（3）別紙「訓練実施の概要」（4）服装及び携行品／①服装…迷彩作業服、ヘルメット、半長靴②携行品…ザック、携帯無線機、小銃及び銃剣（弾薬等の携行、使用はありません）となっている。

練馬平和委員会によると交渉で練馬駐屯地や防衛省から得た「実施について」以外の主な情報は「①目的はアスファルトや市街地になれること②東富士からヘリで荒川河川敷に移動する③警察をつけ、パトカーを依頼している④同行の安全係りには住民に「訓練」とわかる表示をする⑤住民に迷惑がからないように行進する⑥昭和四二年から昭和四五年に違うルートでレンジャー徒歩行進訓練を行った」など。

自衛隊側はアリの的に住民説明会を6月6日（第1回）板橋区西台、7日（第2回）練馬区北町、8日（第3回）板橋区西台で行った。

同時並行して地元住民により東京地裁に訓練中止の仮処分申請がなされていたが六月一日に却下。

六月一二日訓練当日、私たちは八時半より西台駅前において抗議のビラまきとマイク情宣を開始。平和委員会や全労連系の労働組合もすでに抗議のアピールを始めている。予定だと部隊は九時に荒川河川敷出発となつている。「どうも天候が悪くヘリではなく、トラックで早朝出発しているようだ」「御殿場からヘリでここまで一五分で来るそうだ」など色々な情報が入ってくる。「部隊が出発した」。レポから連絡が入る。早朝からトラック内で待機していたようだ。しばらくして部隊がやってきた。レンジャー訓練生は一七名だが、四五人の班に分かれ前後に安全、誘導係の隊員が付いている。迷彩服に顔面迷彩色、ザックに小銃を担ぎ黒い顔の中に眼だけが光る。訓練は三ヶ月前から続けられている。心なしか足元がふらついている。誘導係にザックを支えられている者もいる。「レンジャーの市街地訓練反対！」「殺人精鋭部隊を作るな！」「戦争への道を許さないぞ！」。シュプレヒコールをあげる。部隊は断続的にやってくる。少し離れた場所では「日の丸」を振って激励する人々も見受けられる。部隊の通過が終わると、私たちは練馬駐屯地の正門に移動し、再度レンジャーを待ち構える。抗議の人々、激励の「日の丸」市民、マスコミ、公安など川越街道を挟んで駐屯地前に二〇〇人ほどの人が入り乱れ集まる。レンジャー到着で再度シュプレヒコールを叩き付ける。訓練生はあきらかに足取りが重い。周りを白いヘルメットの警備の隊員が固め、駐屯地内まで誘導している。最後尾が敷地内に入るまでシュプレヒコールをあげ自衛隊に抗議の意思を突き付けていった。

戦争国家化、治安弾圧強化を許さず、今後とも地域から反戦反基地の声を多くの仲間とともにあげていきたい。

(H)